

## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 東北新社

コード番号 2329 URL <http://www.tfc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植村 徹

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 財務・経理統括部長 (氏名) 渡辺 繁和

TEL 03-5414-0211

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	29,760	7.1	3,493	76.1	3,788	74.5	2,077	77.4
23年3月期第2四半期	27,788	△4.2	1,984	△29.6	2,170	△29.2	1,171	9.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,155百万円 (222.9%) 23年3月期第2四半期 667百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	46.22	—
23年3月期第2四半期	26.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	107,728	52,929	48.6
23年3月期	105,172	51,537	48.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 52,307百万円 23年3月期 50,977百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,015	△2.6	5,088	8.3	5,457	7.2	2,604	477.5	57.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	46,735,334 株	23年3月期	46,735,334 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,786,662 株	23年3月期	1,786,662 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	44,948,672 株	23年3月期2Q	44,948,715 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) セグメント情報等 .....	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高29,760百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益3,493百万円（前年同期比76.1%増）、経常利益3,788百万円（前年同期比74.5%増）、四半期純利益2,077百万円（前年同期比77.4%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 制作関連事業

制作関連事業の売上高は、前年同期に比べ4.8%増の16,340百万円となり、営業利益は前年同期に比べ2.3%増の3,066百万円となりました。CM制作部門は、入荷状況は前年同期を下回ったものの、震災等により前期から繰り越された案件が当期に計上されたことにより増収となりました。利益面では、販管費を中心に費用削減に努めたものの、震災後の広告市場の厳しいコスト環境のため、前年同期並みとなりました。プロモーション部門は震災の影響により減収となりましたが、内製化の徹底により増益となりました。ポストプロダクション部門はCM編集の受注が減少しましたが、CG関連映像の受注が好調であったため、売上高、営業利益ともに前年同期並みとなりました。

#### ② 放送関連事業

放送関連事業の売上高は、前年同期に比べ19.3%増の6,717百万円となり、営業利益は前年同期に比べ39.2%増の1,829百万円となりました。当期は前期末に連結子会社化した株式会社ザ・シネマの業績が寄与したこと、また関連チャンネルの加入世帯数が増加したことにより増収となりました。利益面では、番組販売が堅調に推移したことに加え、震災の影響を踏まえ関連チャンネルの費用を抑制的に運営したため、増益となりました。

#### ③ 映像関連事業

映像関連事業の売上高は、前年同期に比べ19.7%増の5,823百万円となり、営業損失は661百万円（前年同期は1,531百万円の損失）となりました。テレビ配給事業の売上高は前年同期を下回りましたが、映像使用権償却費が減少したため営業損失は減少しました。ライセンス事業はライセンス関連の売上が好調に推移しましたが、映画「SOMEWHERE」、「テンペスト」の劇場公開に伴う費用の発生により減益となりました。日本語版制作他は大型劇場用映画の吹替業務が好調に推移し、増収増益となりました。

#### ④ 物販事業

物販事業の売上高は、前年同期に比べ10.6%減の3,047百万円となり、営業利益は前年同期に比べ22.5%減の84百万円となりました。スーパー部門において震災後の消費低迷による影響があったことや、テープ販売部門において震災により商品の仕入が滞り販売に支障が生じたため、減収減益となりました。

(注) 上記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んだ金額を記載しております。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、107,728百万円であり、前連結会計年度末に比べ2,556百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金の増加3,207百万円、受取手形及び売掛金の減少2,294百万円及びリース資産の増加1,242百万円等であります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、54,799百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,164百万円増加いたしました。この主な要因は、短期借入金の増加1,600百万円、未払法人税等の減少1,120百万円、長期借入金の減少500百万円及びリース債務の増加1,303百万円等であります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、52,929百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,391百万円増加いたしました。この主な要因は、配当金の支払764百万円の方で、四半期純利益の計上2,077百万円による利益剰余金の増加1,313百万円等であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ3,119百万円増加し40,215百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の獲得は、3,207百万円となりました。これは、法人税等の支払2,643百万円等による資金の使用があったものの、税金等調整前四半期純利益3,647百万円、売上債権の減少2,294百万円等による資金の獲得があった結果であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の使用は、182百万円となりました。これは、定期預金の払戻による収入3,543百万円等による資金の獲得があったものの、定期預金の預入による支出3,680百万円等による資金の使用があった結果であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の獲得は、72百万円となりました。これは、短期借入金の返済による支出2,500百万円、リース債務の返済による支出178百万円、配当金の支払764百万円及びその他85百万円の支出による資金の使用があったものの、短期借入れによる収入3,600百万円による資金の獲得があった結果であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の通期連結業績につきましては、第2四半期連結累計期間の業績を反映して前回予想値を上回る見通しであります。詳細につきましては、本日(平成23年11月10日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、平成23年5月19日の決算短信で発表しました通期の業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭
前回発表予想	56,417	3,823	4,100	1,706	37	96
今回発表予想	59,015	5,088	5,457	2,604	57	94
増減額	2,598	1,265	1,356	898		
増減率(%)	4.6	33.1	33.1	52.6		
前期実績	60,572	4,698	5,090	451	10	03

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づいて作成しており、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	40,125,851	43,333,261
受取手形及び売掛金	17,496,632	15,202,290
有価証券	569,551	576,183
映像使用権	9,183,360	9,739,770
仕掛品	3,306,701	3,348,193
その他のたな卸資産	439,442	414,178
その他	5,986,096	6,137,136
貸倒引当金	△13,542	△11,839
流動資産合計	77,094,093	78,739,174
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,214,287	13,212,374
その他（純額）	6,475,079	7,503,633
有形固定資産合計	19,689,367	20,716,007
無形固定資産		
のれん	1,040,009	977,175
その他	248,759	234,596
無形固定資産合計	1,288,768	1,211,771
投資その他の資産		
投資有価証券	4,673,241	4,858,225
その他	2,641,501	2,420,060
貸倒引当金	△214,753	△216,841
投資その他の資産合計	7,099,988	7,061,443
固定資産合計	28,078,124	28,989,223
資産合計	105,172,218	107,728,397
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,753,368	20,154,637
短期借入金	24,860,000	26,460,000
未払法人税等	2,461,186	1,340,497
賞与引当金	603,369	547,236
その他	3,145,466	3,028,820
流動負債合計	50,823,392	51,531,191
固定負債		
長期借入金	500,000	—
退職給付引当金	584,562	600,777
役員退職慰労引当金	476,922	388,695
その他	1,249,794	2,278,535

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
固定負債合計	2,811,279	3,268,008
負債合計	53,634,671	54,799,199
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,487,183	2,487,183
資本剰余金	3,729,851	3,729,851
利益剰余金	48,777,655	50,090,896
自己株式	△1,728,041	△1,728,041
株主資本合計	53,266,648	54,579,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△390,007	△402,319
繰延ヘッジ損益	△67,263	—
為替換算調整勘定	△1,831,566	△1,869,992
その他の包括利益累計額合計	△2,288,837	△2,272,312
少数株主持分	559,734	621,620
純資産合計	51,537,546	52,929,198
負債純資産合計	105,172,218	107,728,397



（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）
売上高	27,788,984	29,760,466
売上原価	21,463,622	22,251,316
売上総利益	6,325,362	7,509,149
販売費及び一般管理費	4,341,138	4,015,511
営業利益	1,984,223	3,493,638
営業外収益		
受取利息	52,238	19,318
受取配当金	15,943	27,975
持分法による投資利益	16,339	296,014
経営指導料	123,860	68,654
その他	86,905	79,994
営業外収益合計	295,287	491,957
営業外費用		
支払利息	95,903	96,221
支払手数料	7,525	96,774
その他	5,226	3,636
営業外費用合計	108,655	196,632
経常利益	2,170,856	3,788,964
特別利益		
固定資産売却益	902	—
投資有価証券売却益	18,315	—
特別利益合計	19,217	—
特別損失		
固定資産売却損	20,753	3,587
固定資産除却損	2,251	42,270
減損損失	—	50,857
投資有価証券評価損	102,490	—
貸倒引当金繰入額	34,886	—
その他	35,956	44,687
特別損失合計	196,338	141,403
税金等調整前四半期純利益	1,993,736	3,647,560
法人税等	785,156	1,508,306
少数株主損益調整前四半期純利益	1,208,579	2,139,254
少数株主利益	37,355	61,885
四半期純利益	1,171,224	2,077,368

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,208,579	2,139,254
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△310,812	△12,311
繰延ヘッジ損益	△47,725	67,263
為替換算調整勘定	△177,405	△37,391
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,905	△1,033
その他の包括利益合計	△540,848	16,525
四半期包括利益	667,731	2,155,779
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	630,376	2,093,894
少数株主に係る四半期包括利益	37,355	61,885

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,993,736	3,647,560
減価償却費	352,880	390,997
減損損失	—	50,857
のれん償却額	79,344	66,833
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	29,537	384
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△31,624	△56,133
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△33,525	16,214
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△75,939	△88,227
受取利息及び受取配当金	△68,182	△47,293
為替差損益 (△は益)	28,628	△31,639
支払利息	95,903	96,221
支払手数料	—	85,500
持分法による投資損益 (△は益)	△16,339	△296,014
投資有価証券売却損益 (△は益)	△18,315	2,064
投資有価証券評価損益 (△は益)	102,490	—
売上債権の増減額 (△は増加)	4,042,514	2,294,334
映像使用権の増減額 (△は増加)	△1,108,552	△556,409
仕掛品の増減額 (△は増加)	△1,099,977	△41,512
その他のたな卸資産の増減額 (△は増加)	△87,446	25,264
繰延消費税等の増減額 (△は増加)	△70,337	93,129
前渡金の増減額 (△は増加)	22,488	△20,668
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,484,517	400,953
未払金の増減額 (△は減少)	361	15,224
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△129,714	△120,607
前受金の増減額 (△は減少)	300,535	△175,803
その他	△85,745	118,369
小計	5,707,236	5,869,599
利息及び配当金の受取額	69,009	47,516
利息の支払額	△98,507	△95,349
その他	1,500	—
法人税等の支払額	△1,031,337	△2,643,189
法人税等の還付額	598,897	28,926
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,246,798	3,207,502

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,357,019	△3,680,672
定期預金の払戻による収入	3,152,155	3,543,566
有形固定資産の取得による支出	△72,208	△31,774
有形固定資産の売却による収入	1,783	1,576
無形固定資産の取得による支出	△2,251	△26,260
投資有価証券の取得による支出	△59	△54
投資有価証券の売却による収入	34,069	273
貸付けによる支出	△207,500	△25,000
貸付金の回収による収入	15,000	12,500
その他	34,454	23,020
投資活動によるキャッシュ・フロー	△401,576	△182,824
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	3,300,000	3,600,000
短期借入金の返済による支出	△2,000,000	△2,500,000
リース債務の返済による支出	△152,737	△178,264
長期借入金の返済による支出	△500,000	—
自己株式の取得による支出	△33	—
配当金の支払額	△629,282	△764,127
少数株主への配当金の支払額	△9,360	—
その他	—	△85,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,586	72,108
現金及び現金同等物に係る換算差額	△67,971	23,008
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,785,837	3,119,795
現金及び現金同等物の期首残高	27,316,816	37,095,785
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,102,653	40,215,580

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	制作関連 事業	放送関連 事業	映像関連 事業	物販事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,811,628	5,259,080	4,623,783	2,985,967	27,680,459	108,525	27,788,984	—	27,788,984
セグメント間の内部売上高又は振替高	783,810	373,612	242,202	423,622	1,823,248	44,839	1,868,088	△1,868,088	—
計	15,595,438	5,632,692	4,865,986	3,409,589	29,503,708	153,364	29,657,073	△1,868,088	27,788,984
セグメント利益又は損失 (△)	2,996,630	1,314,138	△1,531,646	109,482	2,888,605	57,692	2,946,297	△962,074	1,984,223

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益の調整額△962,074千円には、セグメント間取引消去△22,807千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△939,266千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	制作関連 事業	放送関連 事業	映像関連 事業	物販事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,541,640	6,212,102	5,260,517	2,642,368	29,656,628	103,837	29,760,466	—	29,760,466
セグメント間の内部売上高又は振替高	798,461	505,708	562,623	405,614	2,272,407	39,888	2,312,295	△2,312,295	—
計	16,340,101	6,717,810	5,823,141	3,047,982	31,929,035	143,725	32,072,761	△2,312,295	29,760,466
セグメント利益又は損失 (△)	3,066,301	1,829,365	△661,690	84,845	4,318,822	50,671	4,369,493	△875,855	3,493,638

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△875,855千円には、セグメント間取引消去20,981千円及び全社費用△896,836千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「物販事業」において、店舗不動産の取壊しの決定に伴い、当該固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、50,857千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。